

経営発達支援計画の概要

実施者名	和歌山商工会議所（法人番号6170005001013） 和歌山市（地方公共団体コード302015）
実施期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
目 標	<p>経営発達支援事業の目標</p> <p>①伴走型支援の強化：小規模事業者においても「事業計画」の作成を促進し、作成した小規模事業者を「集中支援先」として重点的に支援し、地域経済を力強く牽引できる事業所に成長させることにより、地域全体の活力向上に繋げる。</p> <p>②人手不足とそれに伴う経営の持続性確保：安定的な労働力の確保のために、新たな働き手の確保、働き方改革に対応した職場環境の改善による人材の定着を支援する。IT、IoTの導入による生産性の向上を、製造業だけでなくサービス業においても促進する。</p> <p>③事業所が人口減少を上回るスピードで減少している状況の歯止め：今現在、活動している事業所の末永い健全経営の継続を、事業承継計画、早期経営改善計画、事業継続力強化計画の策定を支援することで、廃業を阻止するとともに、新たな事業創出に向けた事業計画（創業計画等）を策定することで地域全体の活力維持に繋げる。</p>
事業内容	<p>I. 経営発達支援事業の内容</p> <p>1. 地域の経済動向調査に関すること 当地域の小規模事業者は、地域内の限られた商圈で事業を行っていることが多く地域経済の動向に左右されやすい。「RESAS」等を用いて管内状況の調査・分析を行い、分析結果を管内小規模事業者等に広く提供することにより事業計画策定につなげる。</p> <p>2. 経営状況の分析に関すること 小規模事業者の中から意欲的で販路拡大の可能性の高い小規模事業者を選定し、事業所の客観的な計数的情報を把握するため、経営支援基幹システム「BIZミル」等のITを駆使した財務内容分析等と代表者ヒアリングによる経営課題をあわせて取りまとめる。</p> <p>3. 事業計画策定支援に関すること 小規模事業者に対し、「事業計画策定セミナー」や「個別相談会」を通じ事業計画策定の意義や必要性を理解してもらうとともに経営指導員が担当制で貼り付き事業計画策定に繋げる。経営分析を行った小規模事業者の7割程度の事業計画策定を目指す。</p> <p>4. 事業計画策定後の支援に関すること（フォローアップ） 事業計画を策定した全ての事業者を対象に事業計画が確実に実行できるよう、「フォローアップセミナー」や「専門家派遣」を実施するとともに、経営指導員が担当制で貼り付き事業計画の実行に繋げる。</p> <p>5. 需要動向調査に関すること 地元イベント「わかやま商工まつり（来場者約3万人）」の会場で、管内小規模事業者の新商品・サービス開発や既存商品を改良するための嗜好傾向を含めた需要動向調査を実施する。</p> <p>6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること 当商工会議所が大都市圏で開催される効果的な展示会・商談会でブースを借り上げ、小規模事業者に出展の機会を提供することで、新たな需要の開拓に繋げる。</p> <p>II. 地域経済の活性化に資する取組</p> <p>①「和歌山市商工業活性化協議会（仮称）」の開催 地域資源を活用した新商品・サービスの開発、新事業の創出や観光産業の活性化など和歌山市の商工業の振興を通じた地域活性化について、和歌山市、和歌山県、当商工会議所が定期的に協議する。</p> <p>②「わかやま商工まつり」の開催 約3万人が来場するイベントを開催し、地場産業の紹介や物産・商品販売等により小規模事業者の販路拡大、来店誘導に繋げる。</p> <p>③「ふるさと愛運動」の取組み ふるさとを愛する気持ちを醸成することで、地元製品の購入することに繋げ、地域経済の活性化を図る。</p> <p>④IT・IoTを活用した生産性向上支援 稼ぐ力を高めるIT・IoT活用、さらにその先を見越したAIの活用を、地元大学の知見も得ながら支援する。</p> <p>⑤若者の地元就職のためのUターン事業 地元企業に一人でも多くの若者が就職するよう「人材Uターンフェア」を開催するとともに労働環境の整備、採用後の人材育成を支援する。</p>
連絡先	<p>和歌山商工会議所 企業支援部経営相談課 〒640-8567 和歌山県和歌山市西汀丁36番地 TEL:073-422-1111 FAX:073-433-0543 E-mail:wakacci@gold.ocn.ne.jp</p> <p>和歌山市 産業交流局産業部商工振興課 〒640-8511 和歌山県和歌山市七番丁23番地 TEL:073-435-1233 FAX:073-435-1256 E-mail:shoko@city.wakayama.lg.jp</p>